

松田美緒

Mio Matsuda
Special Live 2018

クレオール・ニッポン

うたの記憶を旅する

かつての日本の農村や漁村でうたわれていた民謡...
ブラジルやハワイへ移住した人々がうたっていたうた...
そして異文化と交じり合って生まれた「クレオール」的なうた...
吟遊詩人・松田美緒が普遍的な想いを歌います

【 予定曲目 】

原釜大漁歌い込み(福島)
山子歌(秋田)
レモングラス(ミクロネシア、小笠原)
ホレホレ節(ハワイ)
移民節(ブラジル) ほか

演奏曲目は都合により変更する場合がございます。

9月13日^木

18:30開演(18:00開場)

■会場：会津若松市文化センター

TEL：0242-26-6661

福島県会津若松市城東町 14-52
<http://www.aizu-bunka.jp/>

自由席(前売・税込)

2,500円

※未就学児童の入場・同伴はできません。
※大学生以下は1,000円引きです。
※当日は200円増しです。
※障がい者割引・団体割引は会津風雅堂まで。

前売券取扱 6月16日(土)～

- 会津風雅堂
- アピタ会津若松店
- アピオスペース
- 栄町オサダ
- 会津風雅堂のホームページ

お問い合わせ・電話でのお申込み

会津風雅堂 TEL. 0242-27-0900



鶴来正基(ピアノ)



渡辺 亮(パーカッション)

クレオール・ニッポン

Creole Nippon

歌手・松田美緒が2012年にスタートしたプロジェクト。日本の農村、海、山の生活の中でかつて歌われていた日本各地の民謡（徳島、秋田、福島など）から、異文化と混じり合いながら生まれた「クレオール」的日本語の歌（長崎の隠れキリシタンの島の歌や南洋の島々の歌）、またブラジルやハワイへ移民した人々によって歌われた歌など、独自の視点で選び抜いた多様な日本語の歌をうたい、語ります。

これまでに、ピアノ・鶴来正基、パーカッション・渡辺亮とともに日本全国や韓国で公演、2015年にはNHKBBSの「東北Soul」に出演。人々の普遍的な感情と生活が滲んだ数々の歌は、それぞれの歌の世界観に寄り添う音創りによって新たな命を吹き込まれ、聴く人を深い感動にざないます。

松田 美緒 歌 Mio Matsuda, Vocal

土地と人々に息づく音楽のルーツを魂と身体で吸収し表現する“現代の吟遊詩人”。その声には彼女が旅した様々な地域の魂が宿っている。大西洋をテーマにブラジルで録音した『アトランティカ』で2005年にビクターよりデビューし、以来ポルトガル、ブラジル、ウルグアイ、アルゼンチン、ベネズエラ、ペルー、カーボヴェルデなどポルトガル語・スペイン語圏の国々で、現地を代表する数々のミュージシャンと共演、アルバム制作を重ねる。2014年、3年がかりのライブとフィールドワークの集大成として初のCDブック『クレオール・ニッポン うたの記憶を旅する』を発表。ブラジル・ハワイ移民の歌を含め、日本各地の忘れられた歌を現代に瑞々しく蘇らせた作品は高い反響を呼び、文藝春秋「日本を代表する女性120人」に選ばれる。第2回ヘテロトピア文学賞特別賞を受賞。2016年、日本テレビ系列『NNNDキュメント』で、松田美緒の活動を追ったドキュメンタリーが放送され、同作は2016年度坂田記念ジャーナリズム賞グランプリを受賞。2017年4月にはギリシャ・ポルトガル録音の新作『ELA』を発表。11月には「NNNDキュメント」第二弾として、ブラジルの日本人移民の作った歌を探るドキュメンタリーが放映された。www.miomatsuda.com



鶴来 正基 ピアノ

Masaki Tsurugi, Piano



石川県金沢市出身。学生時代よりラテンパンクバンド『VARIETE』のメンバーとして活動。ピアニスト・作編曲家として現在にいたる。歌を際立たせるピアノにも定評があり、加藤登紀子、故ピエール・バルー、Sabdiなど多くの歌手のステージを勤める。最近ではレ・ロマネスク、宮沢和史などのコンサートやレコーディングに参加している。

渡辺 亮 パーカッション

Ryo Watanabe, Percussion



音楽に色彩と空間を与えるパーカッションニストとして、EPO、ショーロ・クラブなど数多くのアーティストと共演、レコーディングに参加。青山「こどもの城」の講師を経て「鼓童」アースセレブレーション、いわき芸術交流館アリオスなど、全国でパーカッションのワークショップを行っている。ソロアルバムに「ウォレス・ライン」「モルフォ」、著書に「レッツ・プレイ・サンバ」がある。また、絵とパーカッションを組み込んだ「妖怪探訪」を主催している。http://www.ryo-watanabe.com/